

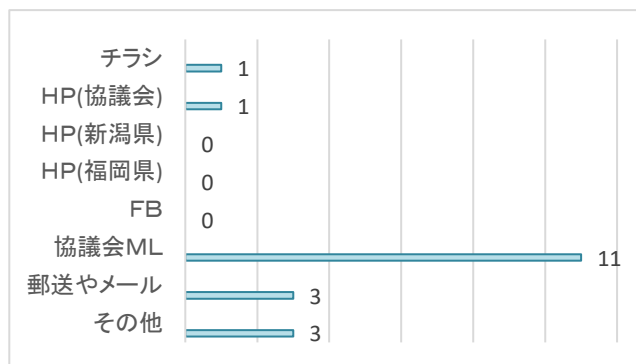
# 「広報事業担当者のための課題解決・実践研修（オンライン開催）」 受講後アンケート 2020年度アンケート集計

【開催日時】 2020年12月3日（木） 10：00～15：00

【参加者数】 21名 【アンケート回答数】 19（回答率 90%）

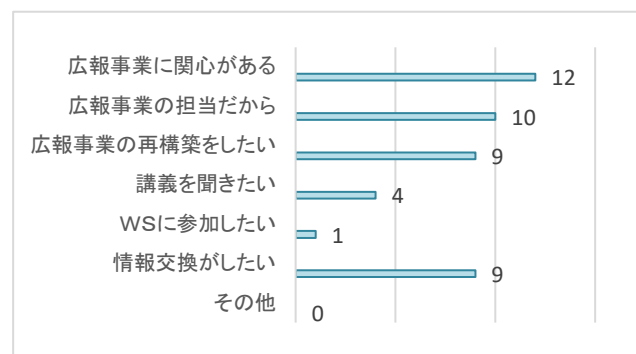
## 問1. 今回の研修をどこでお知りになりましたか

チラシ	1
ホームページ(全国女性会館協議会)	1
ホームページ(新潟県女性財団)	0
ホームページ(福岡県男女共同参画センター)	0
フェイスブックページ	0
全国女性会館協議会メーリングリスト	11
郵送やメールでの案内	3
その他	3



## 問2. 今回の研修に参加された動機をお聞かせください（複数回答）

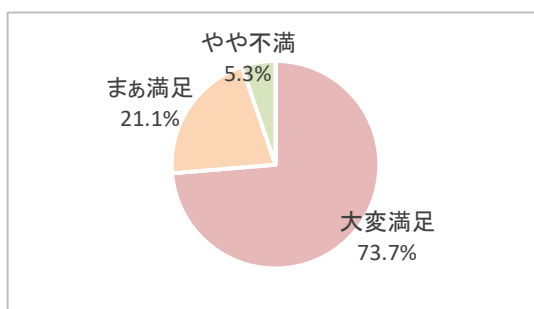
男女センターの広報事業に関心があるから	12
広報事業の担当だから	10
広報事業の再構築をしたいから	9
講義を聞きたいから	4
ワークショップに参加したいから	1
他センターや施設の方との情報交換がしたいから	9
その他	0



## 問3. 講座の満足度と感想をお聞かせください

### (1) 講義1「男女センターにおける広報事業の現状と課題～コロナ影響下の広報事業の再構築～」

大変満足	14
まあ満足	4
やや不満	1
不満	0



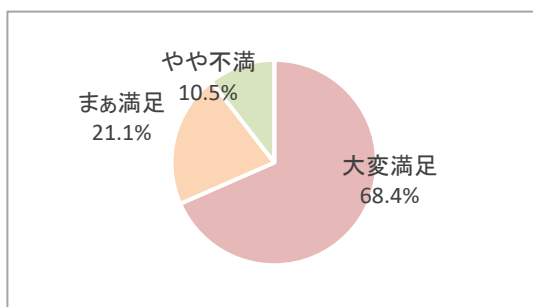
#### 【感想】

- ・話の内容がとてもわかりやすかった。男女共同参画センターの意義、何を伝えたいのかという原点をきちんとおさえた上での広報だと考えさせられた。
- ・各センターのアンケートや「年代別メディア接触時間」の統計データなどに基づいてお話いただいたことで、自分が普段行っている広報事業を俯瞰した視点から見つめなおすことができた。最後の「どんな情報を、どんな人へ届けたいのか」を明確にすることの大切さを痛感し、今後に活かしていきたいと思った。

- ・男女共同参画と女性活躍推進の違いなど、広報にあたって「何を伝えるか」を改めて考えることができた。
- ・誰に何を伝えたいのかが重要という話が大変印象に残った。広報はあくまでも手段であって目的ではないということ意識して、今後の活動に活かしていきたい。
- ・ターゲットの客層に応じて広報媒体を使い分けることの重要性が、印象的だった。また、「古い」と考えられがちな紙媒体にも固有のニーズや、工夫して活用することで効果的なツールになるということも、学びにつながってよかった。
- ・他のセンターがどのような対応を取っているのかが分かり、参考になった。
- ・コロナ禍が男女センターの広報事業に及ぼした影響を把握し、課題を抽出することができた。大変有意義な講義だった。
- ・業界全体の広報についてまとめてあり分かりやすかった。
- ・誰も取り残さない広報という点で公的センターの基本を再確認できた。
- ・男女センターの広報事業の意義、対象によって媒体を使い分ける必要性について理解が深まった。
- ・コロナ禍でオンライン化も進めなければいけないが、社会的マイノリティを支援する男女共同参画センターの立場として、そうした方々を取り残さないように活動していこうと思った。
- ・コロナ状況下での広報の効果的な方法を考えるきっかけになった。「誰ひとり取り残さない」という講師の話に感銘を受けた。できることを職場の皆で考えたい。
- ・これまでのやり方に沿って、なんとなく継続していた広報のやり方を見直すきっかけになった。データなど、今後の参考にしていきたい。
- ・「情報」と「広報」が明確になった。言葉の使い方が、ごちゃまぜだったと気がついた。何を、誰に、どの方法で伝えるか？が参考になった。
- ・広報の業務について再認識ができた。

## (2)ワークショップ1「アンケート結果の報告、課題の共有」について

大変満足	13
まあ満足	4
やや不満	2
不満	0



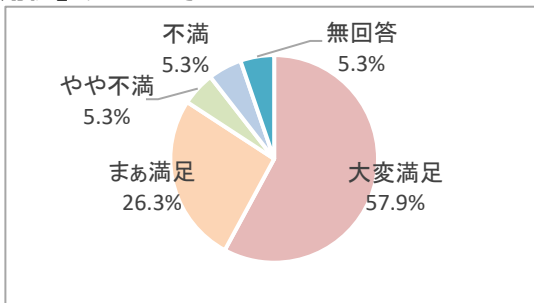
### 【感想】

- ・他のセンターが各媒体の効果についてどう感じているのかがとても参考になった。データが投影のみだったので、資料ももらえると嬉しい。
- ・他館との情報交換によって、FBの広告機能など効果的な手段を知ることができた。
- ・どのセンターも、同じような悩みを抱えていることがわかった。ほかの参加者の方と情報交換ができ、大変参考になった。
- ・他の方々も自分と似たようなことで悩んでいることに安心した。
- ・他センターの成功SNS活用事例を聞くことが出来た。
- ・事前アンケートの結果を配布してもらえると嬉しい。
- ・自分だけでは気が付けなかった課題に気が付くことができた。
- ・アンケート結果に基づいていたので、説得力があった。

- 他のセンターの現状や課題を聞いて参考になった。
- 具体的な活用例を教えてもらい参考になった。
- 他センターの広報の仕方を具体的に知ることができ、参考になった。
- 他のセンターとの情報交換ができて、大変参考になった。すぐに実践できるような参考事例も紹介してもらった。
- 他センターの様子がよくわかった。同じように課題を持っているということがわかった。
- 広報の業務について再認識ができた。

### (3) 講義 2 「広報事業のオンライン活用例」について

大変満足	11
まあ満足	5
やや不満	1
不満	1
無回答	1

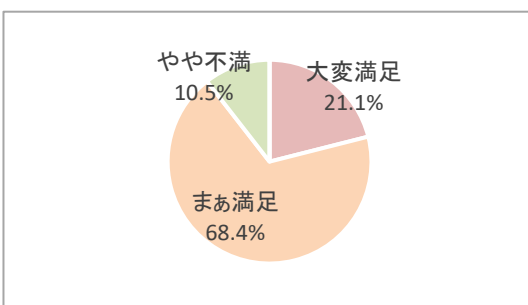


#### 【感想】

- らぶらすさんの取り組みは非常に参考になった。今ある資源をどう利用していくか、その方法について、ぜひ当館でも取り組んでいきたい。
- ツイッターの更新頻度を上げるなど、SNSを使い尽くすヒントを得ることができた。
- 日ごろから、らぶらすさんのホームページを活動の参考にしている。今回、実際に担当者の話を聞き、たくさんのヒントを得ることができた。
- ずっと下を向いたまま話されていて、発表の骨子が伝わってこなかった。また、「普通に～でした」のような、データの裏付けや意思決定の理由について言及のない紹介事項が多く、消化不良。
- 詳しい説明で、とても参考になった。
- 当センターでもすぐに取り入れられそうな内容が含まれていて、参考になった。
- 実際の事例から解説してもらったので、とてもわかりやすかった。自分のセンターの事業に活かしたいと思っ
- 具体例があってとても勉強になった。
- 印刷物などを徹底的に使いまわすという手法が参考になった。
- センターの取り組み事例がとても参考になった。オンラインの活用方法だけでなく、オンラインとリアルの見極め、紙媒体の使い方など、私たちも取り入れていきたい。
- 限られた予算、人員の中、今後、どこと組んで（連携して）広報するといいいのか考えようと思えた。

### (4) ワークショップ 2 「広報事業の再構築（個人ワーク）」について

大変満足	4
まあ満足	13
やや不満	2
不満	0

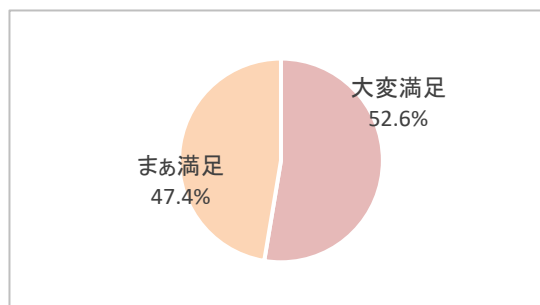


## 【感想】

- 書き出してみると、意外とアイデアがあると実感した。自分の頭の中でだけ考えていたらダメだと思った。このアイデアをよい形で実現できるように、職場内で話していきたい。
- 各媒体の効果を検証しながら次回にどう生かしていくかを考える練習になった。研修時間内だけでは分析の時間は足りないので、自分でも時間を取ってさらに検証し、課内へ提案していきたいと思う。
- 継続することが多く、廃止や新規を考えることができなかった。
- 時間内に終わらせることができなかったが、今後、事業計画を作成するときの資料としたいと思う。
- 具体的な対策を考え始めるきっかけになってよかった。
- もう少し時間が欲しかった。
- 通常業務に追われて、なかなか出来ないことができた。
- 時間が短かったので、再構築というよりも、考える練習になったという感じだった。
- 自身（所属組織）がやらなければいけないことを整理することができた。
- 様々なセンターの意見がきけてとても勉強になった。
- まだ現職に就いて日が浅いので全体を俯瞰して考えることは難しかったが、勉強になった。
- 自分の広報の仕方を見つめ直す機会がいままでなかったため、仕事の棚卸ができたことは有益だった。
- より具体的な広報を考えるには時間が足りなかった。考えた計画をどうやって実践していくかを考えていきたいと思う。
- 事業担当者が広報まで考え実施している。改めてシート記入してみると、「考えてないな」ということが、恥ずかしながら気がついた。
- 自分たちの事業に学んだことをさっそく取り込めた。

## (5)ワークショップ3「意見交換」について

大変満足	10
まあ満足	9
やや不満	0
不満	0



## 【感想】

- 他のセンターの方の取組みが参考になった。意見交換する時間が十分にとれたのもよかった。
- センターの認知度を上げるにはどうしたらよいかということについて、それぞれ工夫していることを聞き参考になった。
- SNSツールを積極的に活用されているセンターも多く、自身のセンターにおいても今後の課題にしていきたいと思う。
- 悩んでいる担当者だけの話し合いだと、課題共有はできるが、新しい閃きがなかなか生まれにくく、行き詰まってしまう。
- 考えたことを発表し合うことで、自分の中から新しい発想が出てきた。
- 他のセンターの担当者の意見や考えを聞くことが大きな学びになった。

- ・ホームページのリニューアルを検討しているの、他団体での具体的な活用法（スマホ仕様、ストック情報の必要性など）を聞いて参考になった。やみくもに広報するのではなく、誰にどのように届けたいか改めて考えて行動しなければと思った。
- ・他センターの方の話を聞いて、大変参考になった。
- ・今後の各センターの広報事業の変化についてどうなったか、また意見交換したい。
- ・各センターの運営方法（直営、指定管理など）で、広報をやっているけど様々だな、と感じた。情報交換ができて良かった。
- ・全員でのやりとりは少し時間がかかるわりに、一言ずつになってしまい少し残念だった。

**問4. 知りたいと思った情報を知ることができましたか。**

はい	18
いいえ	1

**問5. 新しい見方や考え方を知ることができましたか。**

はい	18
いいえ	1

**問6. 課題解決の糸口が見つかりましたか。**

はい	19
いいえ	0

**問7. 今後の広報事業において、何をしたいか、何をすべきか明確になりましたか。**

はい	17
いいえ	1
無回答	1

**問8. 今回の研修の成果の活用方法や感想などご記入ください。（自由記入）**

- ・とても参考になった。
- ・まず次年度の予算計画に「広報」のための予算を組み込めるよう、提案の準備をしていきたいと思う。そのために、職場内でこの研修を共有していきたい。
- ・担当事業のなかで、一つ一つ対象と伝えたいことを明確にしながら、それを適切な媒体で発信していくことを意識して取り組んでいきたい。また、市民協働でイベントを行うこともあるので、今日学んだことをセンターを拠点に活動する市民グループの方にも伝えながら、発信力を高めていきたい。
- ・オンラインでも情報交換の時間を多めにとってあり、ありがたかった。他館の取り組みを知り、視野を広げることができ、従来あるものを「使い尽くす」ことから始めようと気づくことができた。
- ・自分の中では、コロナ禍においてオンラインでの広報にばかり意識が向いていたが、今回の研修を受講して、紙媒体の強みについても学ぶことができた。悩みながらになるかと思うが、ターゲットを意識した広報を行っていけるよう、今回学んだ内容を今後の活動に活かしていきたいと思う。
- ・非常に学びの多い研修で、受講して本当に良かった。また来年も受講したい。
- ・チラシを使い倒すこと、が一番印象に残っている。どのように使い倒すか、この研修も参考にしながら検討していこうと思う。

- 発信したいもの内容にあわせて、届けたいターゲットを明確にし、広報して行こうと思う。
- アンケート結果や、年齢別各メディア利用者のデータなどを確認することで、今後の方向性を考えるきっかけになった。なおざりにしてしまっていた、地道な効果測定をやろうという意欲がわいた。
- 次年度はぜひ例年の2日間の情報事業・広報事業担当者のための課題解決・実践研修が実施できることを願っている。
- どのセンターも、社会を変えていくために必要な次世代への広報力（SNSの発信力）が低いことがよく分かった。センター自身がSNS上の広報力をつけると同時に、やはり発信力のある講師を選ぶ（応援する）ことが重要だと感じた。紙媒体に関しても、デザイン、設置場所、配布枚数等、時代の変化に合わせて再検討の必要があると思った。そのためには今期中に計画し、来期に行動しようと思う。
- 次年度の広報戦略で活用したい。またTwitterなどのSNSではしっかりモニタリングをしていきたいと思う。
- 課内で情報を共有したい。
- センターの広報をどう行なっていったらいいか考えるきっかけになった。
- 広報の対象を意識した発信方法を考え、事業所内で共有していきたい。
- いまやってることの継続と新たな取り組み、また広報したい対象を絞って考えていきたい。
- コロナの影響で、今までの広報の仕方の見直しを迫られていた。改善のヒントが得られてよかった。
- 事業計画の際に、広報をしっかり計画して実施していきたいと思う。これまでのやり方にとらわれず、今後は計画と結果を見直ししながら、広報の手ごたえを感じられるようなデータを取っていききたいと思う。
- 情報を必要と為ている人、参加して欲しい人に、情報が届くように、まず、①考える ②何を誰にを明確にする（基本の基本ですが、大事です。）③どこと組むか？誰と組むか？この3つを大切にしたいと思った。

## 回答者属性

### 年齢

10代	0
20代	5
30代	5
40代	5
50代	2
60代以上	1
無回答	1

### 性別

女性	18
男性	0
回答しない	1

### 所属

男女共同参画センター職員	18
行政職員	1
図書館関連職員	0
学生	0